

# 目次

<b>編集にあたって</b> —————	2	<b>環境マネジメントシステム</b> —————	16
<b>環境経営の推進</b> —————	3	● ITシステムの活用	
● 事業経営と環境経営の整合		● 川崎重工グループにおける環境管理体制(EMS)	
<b>環境経営の基盤</b> —————	4	● 法規制の遵守状況	
● 環境管理・エネルギー管理組織		● リスクマネジメント	
● 2014年度 環境経営計画の策定について		● 環境コミュニケーションの推進	
● 2013年度 活動実績評価		● 2013年度の事業活動のマテリアルバランス (環境負荷の全体像)	
<b>低炭素社会の実現</b> —————	9	● 2013年度の環境会計集計結果	
● 温室効果ガスの削減		<b>Kawasakiグリーン製品促進活動</b> —————	19
● 製品貢献によるCO <sub>2</sub> 削減量		● Kawasakiグリーン製品適合性評価	
● 物流過程における環境配慮		● 第1回Kawasakiグリーン製品発表(2014年)	
● 太陽光発電設備導入		● その他の取り組み	
● エネルギー見える化システムの活用		<b>環境データ</b> —————	27
<b>循環型社会の実現</b> —————	13	● 全社環境負荷データ	
● 廃棄物の排出量削減		● 廃棄物等の排出量と再資源化量	
● PCB廃棄物の適正処理		● 化学物質の排出・移動量	
● 電子マニフェストの導入		● 事業所別環境負荷データ	
<b>自然共生社会の実現</b> —————	14	● 関連会社の環境データ	
● 化学物質削減活動			
● 水の省資源化			
● 生物多様性保全への取り組み			
● ELV指令、RoHS指令、REACH規則などの 海外の法規制への対応			

# 編集にあたって

## 対象期間

2013年度(2013年4月1日～2014年3月31日)。ただし、一部期間外の活動を含んでいます。海外子会社については拠点が置かれている地域によって会計年度や集計対象期間が異なります。

## 対象範囲

川崎重工業株式会社(一部連結子会社を含む)

**発行頻度:** 年度報告書として毎年一回発行予定

**編集発行元:** 総務本部 地球環境部

**発行責任者:** 総務本部長

## 参考ガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」

GRI「サステナビリティ・レポート・ガイドライン第4版」

## 免責事項

本レポートは、当社グループの過去と現在の事実だけでなく、発行日時点における計画や見通し、経営計画・経営方針に基づいた予測が含まれています。これらは記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が記述内容とは異なったものとなる可能性があります。